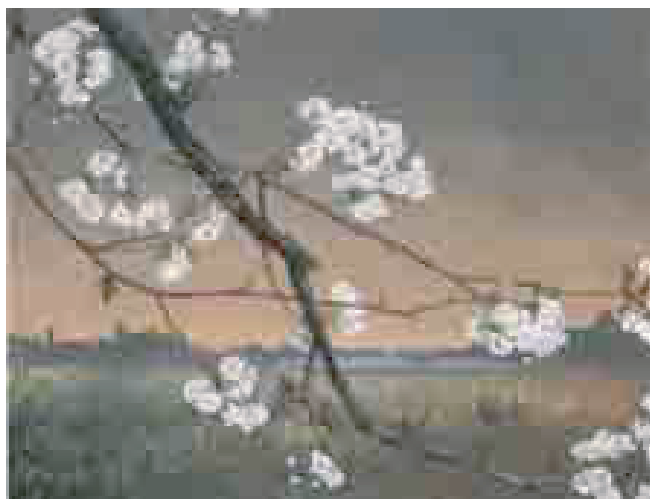


収蔵品による 近代日本洋画の名作展 — 高橋由一から岸田劉生まで —

Invitation to the museum collection.
Masterpieces of Japanese Modern Art, 1870s-1920s

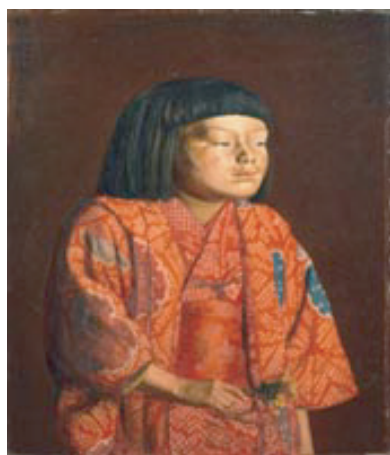
会 期 : 2006年4月8日(土)～5月28日(日)
休 館 日 : 月曜日
開館時間 : 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観 覧 料 : 一般700(600)円
20歳未満・学生550(450)円
65歳以上350円
()内は20名以上の団体料金です。
高校生以下の方、障害者の方は無料です。
会 場 : 神奈川県立近代美術館 鎌倉
〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-1-53
tel.0467-22-5000
主 催 : 神奈川県立近代美術館



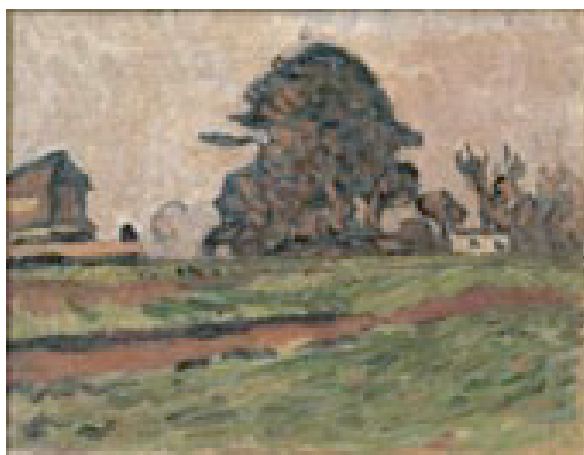
高橋由一《墨水桜花輝耀の景》1874年 寄託

日本で本格的に油絵が描かれるようになって、約150年になります。幕末から明治のはじめ、ヨーロッパから移入されたその技法は、明治、大正、昭和、そして平成と、時代の移り変わりとともに変化し、さまざまな様相をみせています。今回の展覧会では、近代日本洋画の黎明期である明治時代から、美術が多様化し作家が個性を開花させた大正期に焦点をあてて紹介いたします。出品作品は、明治では初期洋画の開拓者である高橋由一、中村不折、本多錦吉郎、黒田清輝、大正期では独自の個性と才能を発揮した萬鉄五郎、岸田劉生、関根正二など神奈川県立近代美術館が収蔵する作品のなかから近代日本を代表する作家の油彩画、水彩画約80点を選びすぐって展示いたします。ぜひご高覧ください。

■学芸員によるギャラリートーク 4月22日(土) / 5月20日(土) 両日とも午後2時から



岸田劉生《童女図(麗子立像)》1923年



萬鉄五郎《田園風景》1914年



小出楯重《静物(乙女椿とレモン)》1920年

詳しくは、美術館ホームページに掲載される下記のプレス情報をご覧ください。
http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2006r_kindai.pdf

お問い合わせ先

神奈川県立近代美術館 鎌倉 〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53
tel.0467-22-5000 / fax.0467-23-2464 広報担当：林 展覧会担当：長門
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/>